

は し が き

この報告書は、農林水産省が平成 22 年 2 月 1 日現在で実施した 2010 年世界農林業センサス経営体調査の鶴岡市分の結果をとりまとめたものです。

世界農林業センサスは、我が国農林業の生産構造、農業・林業生産の基礎となる諸条件等を総合的に把握することによって、農林業の基本構造の現状と動向を明らかにし、農林業施策及び農林業に関して行う諸統計調査に必要な基礎資料を整備することを目的に実施しています。2010 年世界農林業センサスでは、品目別の価格、経営安定対策から、地域農業の担い手の経営を支援する品目横断的な政策への転換の動きにあわせ、従来の世帯単位の把握から各々の担い手が行う個々の農業生産活動(農業経営)に着目し、調査体系が改められています。さらに、法人化、集落営農等を含む農業経営の組織化の動きを捉えるため、「農家調査」等 6 調査を統合し、「農林業経営体調査」として実施しています。

農業・農村を巡る状況は、少子高齢化の進展による労働構造の変化、消費者の食の安全や環境保全に対する関心の高まりなどを背景に大きく変化しています。

このような中、政府においては、「新たな食料・農業・農村基本計画」が決定され、消費者の視点に立った政策推進を基本に、農業者を一律に支援するこれまでの政策を見直し、やる気と能力のある経営を後押しすることにより構造改革を進めていくことや、高付加価値型の農業生産、高品質で安全な農産物の輸出、バイオマスの利活用など各地で芽生えている創意工夫に満ちた「攻め」の取組みを積極的に支援していくことなどを打ち出しています。

本市においても、地域農業を支える自立的生産体制を確立するため、集团的営農体制の整備と担い手の育成を図り、複合経営の推進と生産・流通体制を確立するとともに、林業においては、意欲的な林業経営体への森林施業を集約し、また、木材生産者から利用者までのネットワークづくりを行い循環型社会の構築を推進することを重点施策とし、農家、林家、各事業者とともに活力ある豊かな農林業づくりをすすめているところです。

つきましては、この報告書が活力ある本市農林業構築のための諸施策の基礎資料として広く活用いただければ幸いです。

最後に、この調査の実施にあたりご協力を賜りました調査員の方々はじめ農業・林業関係者各位に対し、深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

平成 23 年 9 月

鶴岡市企画部長 秋野 友樹